

囲碁



囲碁交流大会には、全国から56チーム160人の選手が参加し、各チームの選手が3つのブロックに分かれ、2日間・4回戦の対局を繰り広げました。

囲碁イベントでは、プロ棋士による指導対局や公開対局を実施しました。

未病改善・フレイル予防教室では、筋力測定や滑舌測定、認知機能測定を行いました。また、無料ドリンク配布や小学生の応援メッセージ掲示等を行いました。

開催期間	令和4年11月12日(土)～14日(月)
開催市町名	平塚市
会場	平塚総合体育館（トッケイセキュリティ平塚総合体育館）





第1編
第2章

将棋



愛川町第1号公園体育館では、全国から62チーム・182人の選手が参加し、初日は各チームが16組に分かれ団体戦を行い、2日目は、団体戦の各組で勝ち上がった16チームならびに個人戦の参加者129人が日々鍛えた棋力を存分に発揮し、白熱した対局を繰り広げました。

また、交流大会にあわせ会場内に併設したプロ棋士との指導対局やこども将棋交流広場では、子供から大人まで、多くの将棋ファンで賑わいました。

開催期間	令和4年11月12日(土)～14日(月)
開催市町名	愛川町
会場	第1号公園体育館





俳句



俳句交流大会では、事前の募集句に6,916句、大会の当日句に全国からお越しいただいた163人の皆様から313句の投句がありました。

狂言師 大藏彌太郎さんによる歓迎アトラクションのほか、湯河原町出身の俳人 黛まどか先生による記念講演や、地元の銘菓「きび餅」「足柄茶」のふるまいなど、多くの方々のご協力のもと、心のこもったおもてなしで、多世代の方々と一緒に楽しみ、交流する大会が実現できました。

開催期間	令和4年11月13日(日)
開催市町名	湯河原町
会場	[大会会場] 湯河原町民体育館 [吟行会場] 万葉公園、五所神社





第1編
第2章

健康マーじゃん



荻野運動公園体育館では、全国から66チーム262人の選手が参加し、団体戦・ブロック別個人戦の順位を競いました。ゲストプロ4名を招き、お楽しみ対局やマーじゃん何切る問題を行い、大いに盛り上がりました。会場では、未病改善教室や健康相談を実施するとともに、物産コーナーを設け、厚木市の食の魅力を発信いたしました。

また、地元伝統芸能の和太鼓の演奏や神楽を披露し、全国の選手をおもてなしました。

開催期間	令和4年11月13日(日)～14日(月)
開催市町名	厚木市
会場	厚木市荻野運動公園体育館（メインアリーナ）





第1編
第2章

未病改善教室

未病改善※の大切さについて普及・啓発するため、各交流大会の会場で「未病改善教室」を実施しました。

※心身の状態は「健康」と「病気」の間で変化しており、この変化の過程を「未病」とし、心身をより健康な状態に近づけていくこと。

開催期間 令和4年11月12日(土)～15日(火)

会場 スポーツ交流大会・
ふれあいスポーツ交流大会・
文化交流大会の各会場

